

# 学校通信 南小がより

令和6年6月28日 (No.4)

小金井市立南小学校

TEL 042-383-1149

くじらぐも 042-385-6310



学校 HP

夏休みだからこそできる体験を

校長 檀原 延和

例年より遅い梅雨の候、蒸し暑い日が続いています。早いもので1学期も残りわずかとなりました。

〔大房岬移動教室〕

6月6、7日の2日間、5年生の海の移動教室が「大房岬自然の家」で行われました。施設は、南房総市の大房岬自然公園内にあり、海や森の生物といった自然環境や自然体験プログラムがとても充実しています。本校は、メインの磯観察と南房総キッズレンジャーガイド、ナイトレク、ナイトハイクに取り組みました。体験学習を通して、森と海のつながりや海中生物について学ぶとともに、友達と寝食を共にしながら絆を深め、充実した2日間を過ごすことができました。

夏休みの7月23日～25日には、6年生が、清里林間学校に行ってきます。メインとなる活動は、森林体験活動です。実際に木を切って倒す間伐体験や自分で決めたテーマに沿って探究学習にチャレンジしてきます。



〔夏休みだからこそできる体験を〕

私の子供の時の夏休みの体験を少し書きます。両親の実家が長野県だったため、毎年、夏休みに遊びに行っていました。そこは、丘陵地で、りんご畑など

が広がる自然豊かなところでした。4年生の夏休みだったと記憶していますが、東京を2週間ほど離れ、祖父母の家で過ごすことになりました。1番夢中になったのは、虫採りでした。母屋のすぐ後ろのりんご畑で蝉の鳴き声をたどりながら、蝉を見つけては捕まえ、気が付くと虫かごいっぱいになっていました。また、ギンヤンマやオニヤンマを見付けると、どこまでも追い回していました。オニヤンマを捕まえた時の興奮は、今でも覚えています。また、叔父と早起きをして近くの森へ行き、カブトムシなどがいる木を選んで、足で強く蹴って揺さぶりました。すると、クワガタやカブトムシが落ちてくるのです。りんごの木箱にたくさんのカブトムシやミヤマクワガタを入れて東京に持ち帰りました。そうすると、夏休みの自由研究は、昆虫の標本作りです。近所の駄菓子屋さんに売っていた標本作成キットを買い、家にあった空き箱に脱脂綿を敷き詰め、試行錯誤しながら虫を並べていきました。オニヤンマやカブトムシ、ミヤマクワガタ、セミ、カミキリムシ、カナブンなどを標本にしたと記憶しています。とても懐かしい思い出です。

自分が何かに夢中になった体験や試行錯誤して取り組んだ経験は、いつまでも記憶に残り、潜在的な意識にも影響を与えていると言われています。そして、その後の自分の行動、もっと広く捉えれば、人格形成にも少なからず影響を与えます。Society5.0の時代に移行しつつある今の時代、子供たちの体験の選択肢は大きく広がり多様化しています。自然体験、読書体験、ものづくり体験、バーチャル体験、交流体験などなど。また、ほとんどの情報はスマートフォンなどの情報機器を使えばいつでもどこでも入れることができます。

この夏休み、長い休みだからこそできる体験にどんどんチャレンジしてほしいと思います。

## 【個人面談について】

すでにお知らせしましたとおり、夏季休業中に全児童を対象に個人面談を実施させていただきます。限られた時間ではありますが、保護者の方々と1学期の子供の成長を共有し、2学期に繋げる貴重な機会にしたいと思います。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【通知表「みなみの子」の一部変更について】

- 1学期の所見欄は、これまで通り夏の面談に替えさせていただきます。
- これまで別枠を設けて記述していた、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間についての所見は、総合所見欄に記述するようにしました。詳しくは、後日配布されるプリントをご覧ください。